


| | | |
|---|--------|---|
|  | シーズ名 | 時間学の視点からの現代社会が抱える研究（地域問題、高齢化問題など）、そして、時間学の体系作業に取り組む |
| | 氏名・所属等 | 辻 正二 地域経営コース 教授 |

<概要>

私の研究は、社会や人間を時間学的分析することである。特に、現在社会が高速化していく側面と人間の適応問題を考えている。以下、こうした研究への私の関心は以下のように表現することができる。

①現代社会における高速化は、近代社会において一貫して探求されてきたが、高速化は時間圧縮の進行と捉えることができる。しかし、社会システムの時間圧縮によって生じる歪みをどこまで考慮してきたであろうか。

②人間の社会は、文明史初期の頃から自然のリズムとの調和を図ってきた。その結果がどの社会においても構築された暦文化などの時間装置による時間管理であった。

③近代社会以降、特に現代社会は、自然リズムと社会リズムの調和を図ることの重要性を忘却している。

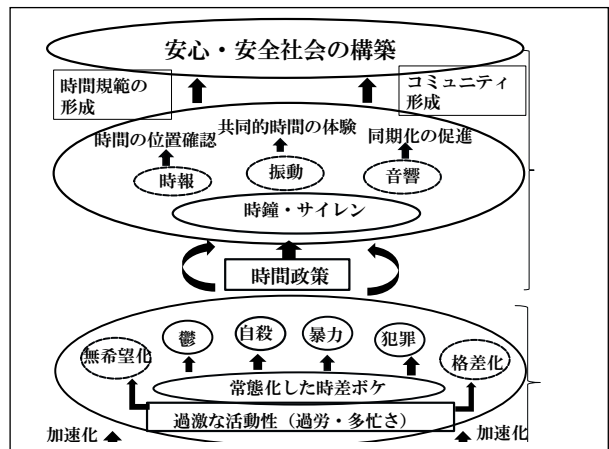
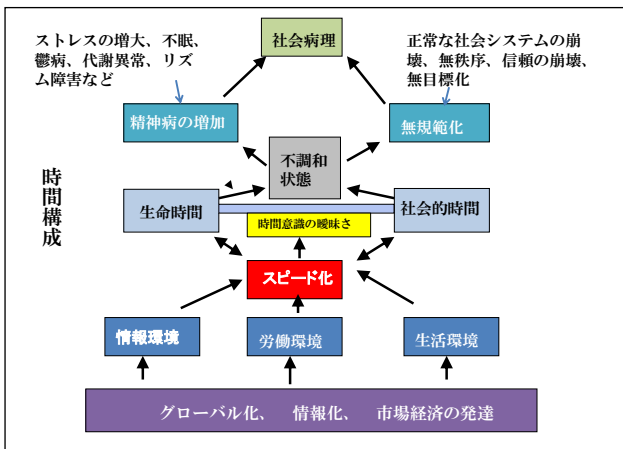
④現在、先進国において進行する少子化、高齢化、都市化、グローバル化という問題群は、子ども時代の時間短縮、高齢期の時間伸長、地域社会の時間圧縮、市場経済の時間圧縮などを進行させている現象として捉えることができる。

⑤時間学という学問の樹立と体系化の作業の寄与することである。

以上を、社会学と時間学の両面から研究することが、私の目下の研究課題である。

<アピールポイント>

以下、これまでの科研費研究課題の接近法を図示しておきたい。



<利用・用途・応用分野>

時間学の研究は、動きや変化の研究とそれに伴い起こる出来事や意味づけの仕方自体で大きく変わります。時間の種類には、自然的時間、生命的時間、社会的時間、文化的時間、人間的時間などがあり、時間学の研究は、一領域の学問に留まることなく、むしろ学際的な学問の結集を必要とします。

私自身は、いま生きている人間、問題を抱えている団体や組織や社会も、時間学的な考察の中から、時間を動かすことに集中して欲しいと思っています。

<関連するURL>

<http://timestudies.net/>
<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp/>

| | |
|-------|---------------------------|
| キーワード | 時間学、時間圧縮、リズム、地域社会、高齢化、過疎化 |
|-------|---------------------------|